



第 683 号

発行所

天理教静岡教務支庁
〒425-0013
焼津市岡当目1番地

TEL (054) 626-1333
FAX (054) 628-4615
Email: skyou@live.jp

本年後半の活動の充実を

本年1月26日、教祖140年祭がつとめ終えられました。

年祭で真柱様は「これから普段の歩みになつていくわけですが、普段といつても3年前に戻つてしまつたのでは何にもなりません。3年間の努力の上に立つた歩みを続けていかねばならない」と述べられ、その思いを受けて5月30、31日の両日にわたり「静岡教区全支部おぢばがえり」を感謝と今後の決意を胸に、教区内一手一つになつて勇んでつとめさせていただきました。

それを受けて実施した全支部おぢばがえりで培われた地域の輪をさらに継続しつつ、一層の拡大を目指し、本年後半に各支部より独自の取り組みが発表されています。

支部によつて、おつとめ総会、ひのきしん活動などいろいろ計画されていますが、これからの活動は、真柱様の思いに沿つた「年祭活動の三年間の努力の上に立つた歩み」になると思います。これらの動きを次へ継続していけば、地域が勇んで発展していくのではないのでしょうか。

一方、教区としても各部、各会がこれまで通り、布教部、婦人会、青年会活動は言うまでもなく、少年会ならサマースクール、学生会

や学生担当委員会なら「春の学生おぢばがえり」「道の学生ひのきしんDAY」「民生・児童委員や里親、保護司や教誨師、福祉献血、子供食堂などの地域活動の視点からは「教区福祉大会」が、また「道の教職員の集い」や「おうた合唱団」など多岐の活動を展開して、ようぶくの丹精と育成あたらしい人材の発掘と育成の上に日々努力を重ねております。

まず教区・支部管内が一手一つに心を寄せ、それぞれが持てる力を出し合つて活動を盛り上げるとともに、その輪を一人でも多くの教友に拡げるべく、こまめに声を掛け、誘い合つて、親神様、教祖に喜んでいただけるよう、精一杯つとめさせていただきます。

教区報編集部編集長

芹澤広和

元教区長 相談役 嶽東大教会前会長 鈴木邦廣先生お出直し

元教区長で嶽東大教会前会長の鈴木邦廣先生が心不全のため7月1日午前8時10分、お出直しされた。

昭和43年、静岡教区青年会委員長を拝命。若者の先頭に立ち、率先してあらきとうりようの育成に尽力された。昭和47年、嶽東大教会長に就任されてからは、教区主事として、輸送委員会委員長や会計部監査役などの重役を担われた。

平成元年より5期15年の長きにわたり教区長をつとめられた。教区長就任以降、教区新体制づくりに着手、懸案事項に取り組んだ。平成3年にはこどもおぢばがえりの行事担当教区として「ワイガヤステージ」を担当。教区独自の少年会ひのきしん隊としてサマースクールを開校。現在につながるわかぎの育成体制を確立された。

続いて平成4年には「静岡教区陽気ぐらしおぢばがえ



り大会」を実施。六千名を超える管内ようぼく信者がおぢばに集結。三代真柱様からお言葉を賜り、管内に一手一つの機運を高められた。また念願だった教務支庁舎ふしんを打ち出し、これを成し遂げられ、平成5年5月2日、三代真柱様をお迎えして開所式を行い、管内ようぼくの集う拠り所を整えられた。

平成5年に一千名を超える「静岡教区おうた合唱団」を結成、教区管内10数か所の練習会場を設けて研鑽を重ね、平成7年3月5日、「静岡教区おうた演奏会」をアクトシティ浜松で開催した。天理教音楽研究会会長をつとめる三代真柱様、また世界的な作曲家である團伊玖磨氏やソリストを迎え、読売交響楽団の演奏によって盛大につとめあげ、社会からも大きな反響を得たことも大きな実績としてあげられる。

翌平成8年には四千五百名の教友を集めて、静岡教区「たすけあいおぢばがえり大会」を実施。平成12年には小笠山運動公園を会場に、災害救援ひのきしん隊の全国訓練を実施し、行政とのつながりをつくり、地域社会への協力・連携体制づくりを進められた。

任期15年目の締めくくりには、教区育成会館の竣工、「教祖120年祭静岡教区ようぼく決起大会・おうた演奏会」を開催。次代を見据えた体制の構築を図り、教区長を勇退された。その後は教区相談役としてつとめられた。

お葬儀は7月4日19時よりみたまうつしの儀が、5日10時より告別式が嶽東大教会神殿を会場に営まれ、教区として多くの主事、支部長、管内教会長夫妻やようぼくがその御徳を偲んで参列し、代表して大石道忠主事（教区長室次長）が表統領弔辞を代読した。



教区学生会 新入生歓迎会

教区学生会は6月20日、おちば管内の学生を対象に新入生歓迎会を開催した。当日は高校生11名、大学・専門学校12名、その他1名の計24名の参加があり、賑やかな一日となった。

20日は午前中に授業があつたため、午後からの開催。会場となつた山名詰所の講堂では、学生スタッフが受付を

の学生会は居心地がいいから参加した」「行事に来て友人が同じ静岡出身であることを初めて知った」「進学して不安だったが、つながりができてうれしかった」との声があつた。

担当し、参加者を温かく迎え入れた。歓迎会では、はじめにウォーミングアップ、レクリエーションを楽しみ、緊張気味だった参加者も笑顔あふれる交流の時間となった。

学生担当委員会では、静岡県内にいる学生はもちろん、おちばで生活する学生ともつながりを持てるよう活動を進めています。



教区学生担当委員会

岡野多吉



夕食には、普段寮生活でなかなか食べる機会がないという声からリクエストのあつたBQを楽しんだ。

何より、大学生や高校生といった立場を越え、「静岡出身」というつながりをきっかけに仲を深めていく姿を見て、これからの学生会の広がりがますます楽しみに感じられました。今後はこどもおちばがえりのひのきしんや「道の学生ひのきしんデー」などの行事を予定しています。対象となる学生に声をかけ、

当日は、強い雨の影響で会場が少し狭くなったが、その分参加者同士の距離も近くなり、会話がぐいに盛り上がり充実した催しとなった。

今回、参加した学生からは「静岡教区



青年会ひのきしん合宿を開催

教区青年会は5月16、17日の2日間にわたって、恒例のひのきしん合宿を教務支庁にて開催。6名の県内の会員が集まった。

参加者した会員からは「普段こういう集まりがないので、すごく新鮮だった。またこのような行事があつたら

日中は敷地内の生垣の剪定、中庭の草刈りなどのひのきしんに汗を流し、夜は青年会室にて懇親会を催し親睦

あり、今後の青年会活動の糧となる有意義な時間となった。



立教189年静岡教区婦人会

みちのだい育み塾

8.29 (土) 10:00～12:45 (受付9:00～)

講演テーマ 「心の花を咲かせよう」

講師 伊橋 幸江 先生
天理教校本科研究課程講師

参加御供 1,000円 (昼食代含む)

参加申込 各支部担当者までお願いします

会場 静岡教務支庁



第2回 静岡教区 福祉大会

～社会貢献 道の仲間のつどい～

立教 189年 (2026年)

開催日 **8月30日 (日)**

午後1時開始 午後5時解散

教祖 140 年後新たな出発を期して
集おう道の仲間たち

会場 天理教静岡教務支庁
焼津市岡当目字村北1番地

対象 保護司・民生児童委員・教誨師
こども食堂・里親 など、関心のある方
※記念講演のみの参加も可能です

内容 式典・記念講演・分科会

参加費 500 円

申し込み締切 8月15日

講師 杉江健二 先生



参加申し込みフォームはこちら→

QRコードからか、FAXにて
氏名、支部、直属、所属、立場、希望分科会、住所、連絡先電話番号を
記入して、教区に申し込みください。 電話 054-626-1333 FAX 054-628-4615

